# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | 急性冠症候群患者における LDL コレステロール管理状況の評価と目標 LDL-C 達成に関する臨床的因子の検討 |
| 研究責任者 | 薬剤部　松下紗季 |
| 研究実施体制 | 聖隷浜松病院 |
| 研究期間 | 臨床研究審査委員会承認日　～　2028年3月31日 |
| 対象者 | 2024年5月から2026年4月までの間に聖隷浜松病院循環器科に入院し、心筋梗塞治療を行った方 |
| 研究の意義・目的 | 急性冠症候群（ACS）は心血管疾患の中でも重篤で、再発リスクが高く、退院後も継続的なリスク管理が求められます。特に LDL コレステロール（LDL-C）の低下は ACS 患者における二次予防の中心的な目標とされており、ガイドラインでは厳格な LDL-C 管理が推奨されています。当院でも、このガイドラインに基づき「ACS 二次予防プロトコル」を策定しましたが、現在のところ臨床現場での十分な実用・定着には至っていません。 そこで本取り組みでは、プロトコルの実用化に向けた現状を正しく把握し、課題を明確にすることを目的としています。具体的には、当院における目標 LDL-C 値の達成率や、脂質異常症治療薬（HMG-CoA 還元酵素阻害薬など）の導入率を評価します。さらに、目標 LDL-C 値の達成に関わる要因を探索し、今後のプロトコル実用化および院内の二次予防体制の改善に役立てる知見を得ることを目指します。 |
| 研究の方法 | 診療録より患者背景（年齢、生年月、性別、身長、体重、BMI、体表面積、喫煙歴、既往歴、入院病名、常用薬、使用薬剤（投与量、投与期間含む））、血液検査値（AST、ALT、ALP、LD、γ－GT、CK、CK-MB、トロポニン I、D-ダイマー、BNP、CRP、K、Na、クレアチニン、Ccr、eGFR、LDL-C、総コレステロール、中性脂肪、HDL）、有害事象（横紋筋融解症）、心電図（ST 上昇の有無）、臨床転帰、外来日のデータを抽出し臨床転帰の調査を行います。 |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院　薬剤部（氏名）松下紗季<br>TEL:053-474-2222（代表）　薬剤部　9:00～17:00　平日 |

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会

（研究承認番号：　5313　　）　　2026 年　11 月　18 日承認

聖隷浜松病院/臨床研究審査委員会
（研究承認番号：　5313　　）　　2026 年　11 月　18 日承認